

ブルミエールひたち野本館
施設長 塚本 勝



平成7年7月7日に、社会福祉法人廣山会は茨城県の認可を受け設立いたしました。私は、30年前は川井会計事務所の職員でしたので、川井理事長が忙しく大変そうな姿を見ていました。翌年の平成8年4月25日に特別養護老人ホームブルミエールひたち野が開設されています。オープン前には何度か手伝いに来ています。施設入りの坂道に何本か桜の木を植えました。あの頃は、スコップを使用して自力で穴を掘って植えたので大変でした。

平成11年1月に特養の職員として入職しました。全くの素人でしたので、介護の専門用語が分からず先輩職員に質問してばかりでした。また、新人職員でしたが特養の中では年齢は上の方だったので「おっさん」と呼ばれていました。平成14年11月から総務の一員となり、平成31年4月からは本館施設長として働いています。平成14年10月にグループホーム本館が開設し、翌年の平成15年12月にブルミエールひたち野2号館を竣工しました。平成25年に特養30床とショートステイ10床を増床しています。翌年、平成26年4月にブルミっこ保育園をオープンし、廣山会の子供から高齢者に対応できる社会福祉法人となりました。廣山会30周年の令和7年7月に茨城県からの補助金を受け、施設の一部を改築し特養20床の増床をする事ができました。

社会福祉法人廣山会が無事に30周年を迎えられたのも、地域の皆様の御支援とご協力があったのお陰です。30周年の今年の納涼祭での打ち上げ花火は盛大に上げる予定です。ぜひ地域の皆様にも楽しんで頂けると幸いです。今後も、地域社会の福祉を目指し、職員一同地域福祉に努め50周年・100周年を目指していきます。今後も社会福祉法人廣山会をよろしく願いいたします。

地域密着の福祉を目指し30年 社会福祉法人廣山会 施設長挨拶

ブルミエールひたち野2号館
施設長 木村 和弘



この度、令和7年4月1日付けでブルミエールひたち野2号館の施設長に就任いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。施設長という大役を仰せつかり、その職責の重大さを痛感しております。

私は、平成8年4月1日にデイサービスの介護職として入職しました。デイサービスの最初の頃は、利用されるお年寄りも少なく、利用者1人に職員5名という日があった事を懐かしく思い出します。その後、平成12年に介護保険制度が導入され、介護の相談窓口である在宅介護支援センター、配食サービス、グループホームなど、主にかすみがうら市にお住まいの高齢者の在宅介護を支える業務に従事してまいりました。

今の私があるのも30年前に廣山会が設立し、特別養護老人ホームを中心とした利用者や家族の方をはじめ、関係機関の方々と関わりを持たせて頂く中で、さまざまなことを学ばせて頂いたからだと感謝しています。

法人設立30周年を迎え、廣山会はこの地域に無くてはならない法人だと思っています。私は、開設当時の職員としての誇りを持ち、生まれ育ったこの地域で、当法人の理念の下、微力ではございますが、職員一丸となって、利用者、家族、地域の皆様に誠実な対応を心掛け、信頼される施設となれるよう、より一層努力して参ります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ブルミエールひたち野本館
副施設長 江黒 徹



平成9年4月に入職した時は開設2年目で職員の数も50名程度でした。専門学校を卒業したばかりの私は、人生の先輩であるおじいちゃん、おばあちゃんに昔話を聞きながら、介護とは何かを日々学んでいたように思います。その頃は行事も少なく、何を準備すればいいのか、どうすれば楽しんでもらえるのかと、失敗ばかりして学んでいたのを覚えています。

平成12年4月に介護保険制度が導入され「措置」から「契約」となり、利用者が施設を選ぶ時代になります。その頃、川井施設長が先頭に立ち「介護保険について」の勉強会でたくさんの事を教えていただきました。また、新聞を読んでの感想や全体会議でのグループワークと職員のために、幅広い知識が必要な事を学び成長できました。その頃のブルミエールひたち野は、「ナンバーワンよりオンリーワン」「地域に愛される施設」を目指し、納涼祭では地域の方の参加、かすみがうら祭りへの出店、地域の奉仕作業など職員が地域との関わりを積極的に持つように努めてきました。そして、職員は委員会活動を通じて、部署の垣根を越えて協力する体制も確立され、他にはないチームワークのとれた法人だと思っています。

今現在、社会福祉法人廣山会は、特養、デイサービス、グループホーム、居宅、高齢者住宅、その他に児童クラブ、保育園と幅広い福祉に携わっております。利用者・家族・地域や関係者の皆様に助けられ、令和7年7月7日で30周年を迎える事ができました。これから先も廣山会が末永く皆様に愛され、かすみがうら市にブルミエールひたち野があって良かったと言われるように、職員一同、日々頑張っていきたいと思っています。今後ともご支援ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

ブルミっこ保育園
園長 大和田 修



私が福祉の業界に足を踏み入れたあの日から、早いもので23年が経ちました。老人介護の現場からのスタートでした。介護保険制度や介護技術、介護そのものの在り方が変化を続けるなかで、自分自身の考え方や視野も広がっていききました。

今は児童福祉の現場で、子どもたちと過ごす日々を送っています。高齢の方と子ども、一見するとまったく違う分野ですが、「目の前のその人に寄り添う」対人援助という福祉の根幹の部分、本質はどちらも変わらないと感じています。どんな年齢であっても、誰かの人生に関わるということは責任のあることであり、同時にとても大切で、社会インフラとしての重責を担う仕事だと思っています。

また、法人の理念である「自利利他の実践」は、私自身いつも心に置いている言葉です。誰かのために動くことが、気付けば自分の学びや喜びになっていることも多く、日々の実践のなかで、利他の行為が自己の充実につながるという循環を体感するたびに、そうした経験の一つひとつが、自分の背中を押してくれているように思います。

30周年という節目を迎えられたことを嬉しく思うとともに、ここからまた新たな一歩が始まるのだと感じています。これからも仲間とともに支え合いながら、「自利利他」の心を大切に、一歩ずつ前に進んでいけたらと思っています。



地域の皆様に支えられ

おかげさまで
30周年

社会福祉法人廣山会
理事長 川井 義久



令和7年7月7日は、廣山会を設立してちょうど30年になります。皆様方のお陰様で30年という節目の年を迎えることができました。平成7年7月7日に社会福祉法人廣山会設立の認可をいただいたときは、7が3つも並ぶ年は「今後ないだろう」と思っていたのですが、本年は、偶然にもまた7が3つ並んだ年です。

廣山会の30年を振り返ると、当初の10年間のうち初めの5年間は措置の時代でした。その後、社会福祉制度の大改革ともいえる社会福祉基礎構造改革が実施され、福祉に対する考え方が大きく変わりました。介護保険制度の導入、障害者総合福祉法の新設、エンゼルプラン、新エンゼルプランによる新たな子ども子育て支援制度の導入と老人福祉だけではなく、障害者福祉、児童福祉においても新たな支援制度が始まるなど福祉を取り巻く経営環境が大きく変わり、法人設立から20年間は制度改正に翻弄された20年間でした。その後の20年から30年の10年間は、2020年1月から始まったコロナとの闘いとなりました。令和5年にコロナは第5分類に移行されましたが、移行後も収束は難しく、各部署それぞれ難しい対応を迫られ今に至っています。最初のコロナ感染確認後5年たった今でも経営に対する影響がいまだに続いている状況です。

10周年(2005年)から20周年(2015年)の10年間は、先に書きましたが制度改正に翻弄されただけでなく、リーマンショックや東日本大震災があったりと世界経済、自然災害にも大きな出来事がありました。しかしながらそのような中でも施設としては、関係各機関、地域、地元の皆様のご理解、ご協力、ご支援により大きく飛躍できた10年間だと思っています。

す。平成14年(2002年)グループホーム本館、平成16年(2004年)ブルミエール2号館、平成21年(2009年)児童クラブブルミっこ、平成22年(2010年)シャトーブルミエ、平成25年(2013年)特養30床、ショートステイ10床の増床、平成26年(2014年)ブルミっこ保育園オープンと矢継ぎ早に事業の拡大をすることができました。事業の拡大とともに廣山会の職員には多大なる負担をかけてしまったと思っています。ここに改めてお礼申し上げます。職員の皆さん本当にありがとうございます。ここまでやってこられたのも皆さんの頑張りがあってのことです。

コロナ5類移行後、一昨年には、デイサービスセンターの統廃合(本館デイを廃止し、2号館に統合)に踏み切りました。30年間で事業の縮小は初めてのことでしたが、経営資源の選択と集中も大切なことだと痛感しています。本年は特養20床を増床し7月から稼働しています。

ブルミエールひたち野の基本理念は「自利利他、自利トハ利他ライフ」です。「自利利他」の実践を通して入所者、利用者、職員の安心と安全、幸福を実現することを目標に日々精進しております。ブルミエールの職員は、30年間積み上げてきた「自利利他の実践」を基本としつつ、働くということがお客様のため、人様のため、みんなのため、多くの仲間達のため、ひいては社会のために働いていくのだという自覚を持って仕事をしています。

長かった30年。あっという間の30年。長くもあり短くもあった30年でしたが、30周年と言ってもこれからの40年、50年と歴史を刻む通過点にすぎません。地域に愛される施設としてこれからも職員一丸となり切磋琢磨していく所存です。

これからも、今まで以上のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

●ブルミエールひたち野本館

かすみがうら市土土田330-2 TEL.0299-59-5611

●ブルミエールひたち野2号館

かすみがうら市稲吉2-21-7 TEL.029-833-3300

●ブルミっこ保育園

かすみがうら市稲吉南2-9-1 TEL.029-834-7003

- 平成7年7月7日 社会福祉法人廣山会設立
- 平成8年4月15日 プルミエールひたち野 竣工式
- 4月25日 特別養護老人ホーム、
- ショートステイ本格始動
- 在宅介護支援センター受託
- 7月1日 デイサービス本格始動



- 平成11年4月1日 訪問事業所開設
- 10月1日 居宅介護支援事業所開設
- 12月5日 大餅つき大会 ゲスト：水戸泉関



- 平成12年4月 介護保険制度スタート
- 平成14年10月1日 グループホーム本館オープン



- 平成15年12月21日 プルミエールひたち野 2号館 竣工式
- 平成16年1月9日 プルミエールひたち野 2号館本格始動
- デイサービス、グループホーム
- 地域交流センター
- 平成17年3月31日 本館：厨房増築
- 4月28日 配食サービススタート
- 平成18年8月5日 10周年記念大花火大会（納涼祭）
- 12月5日 10周年記念大餅つき大会
- ゲスト：稀勢乃里関



- 平成20年 本館：陽光桜駐車場、桜見（お花見）公園完成
- 平成20年4月1日 後期高齢者医療制度スタート



- 平成21年4月1日 児童クラブプルミッコオープン
- 平成22年4月1日 高齢者生活共同運営住宅
- シャトープルミエオープン
- 平成23年 本館：乾燥機入替、洗濯室内壁修理・整備実施
- スプリンクラー設置



社会福祉法人 廣山会

30年の歩み

- 平成24年 本館：エアコン・厨房冷蔵庫・特浴機入替
- 平成25年4月27日 特別養護老人ホーム30床、ショートステイ10床増床



- 平成26年4月1日 プルミッコ保育園オープン
- 児童クラブプルミッコ移転



- 平成27年7月7日 社会福祉法人廣山会設立20周年
- 8月1日 大納涼祭・20周年記念大花火大会
- 平成28年 福祉車両2台・保育園バス購入
- 2号館：屋上防水工事
- 平成29年 本館：LED工事、浴室改修工事、介護浴機購入
- 平成30年 児童クラブ車両購入、保育園改修工事
- 児童クラブ完成
- 本館GH・2号館屋根塗装



- 令和2年 2号館：正面正門移設、屋上防水工事
- デイサービス車両購入
- 令和3年 保育園：バス購入、本館：車両・入浴リフト購入
- 令和4年 2号館：入浴リフト購入
- 令和5年 2号館：外壁塗装、エアコン入替
- 令和6年2月1日 本館・2号館デイサービス統合
- 3月31日 本館デイサービス休止
- 令和6年 特養増床工事開始、本館デイサービス廃止、2号館外倉庫完成
- 令和7年7月1日 特別養護老人ホーム20床増床
- 機能訓練室、浴室、食堂改修
- 令和7年7月7日 社会福祉法人廣山会設立30周年

